

NEWS RELEASE

No.20-17

2020年12月24日

公益財団法人 損害保険事業総合研究所

2019 年度本科講座の成績優秀者を表彰

2019 年度本科講座（6 クラス編成）の修了認定を行い、各クラスの成績上位 10% の 71 名を成績優秀者として表彰した（氏名は後掲）。

さらに成績優秀者のうち各クラス上位 3 名（計 18 名）には「本科特別成績優秀賞」を授与する。

本科講座は損害保険の基本的・体系的な知識の習得を目的としており、通信による学習とスクーリングで構成されている。（計 13 科目）本講座終了時の登録者数は 822 名、修了者数は 695 名で修了率は 84.5%であった。

例年のスクーリングは夏季に東京の損保会館に於いて集合形式で行っているが、新型コロナウイルス感染拡大防止のため秋以降に時期を変えてオンラインでの開催とした。（2 クラス合同で計 3 回開催、815 名が参加）保険種目の科目は Web 配信講義で事前に学習し、当日は Web テストと Zoom による特別講義（「コロナ・シンギュラリティ ウィズ/アフターコロナのビジネス、保険、働き方はどう変わるか」牧野 司氏、「コンプライアンスについて」中央大学法科大学院・野村修也教授、「シェアリングエコノミー&DX 時代の損害保険」法政大学人間環境学部・長谷川直哉教授）、「金融の基礎知識」の講義（神戸大学経済経営研究所・家森信善教授）やワークショップを実施した。

ワークショップは、慶應義塾大学システムデザイン・マネジメント研究科の講師陣を招き、Zoom や Miro といったオンラインツールを活用しながらグループワーク（システム思考とデザイン思考でイノベティブに考える方法）を行った。

本講座の受講生からは以下のような感想が寄せられている。

- ・本科講座の受講は「保険とは何か」、「使命はなにか」ということを熟考する貴重な機会となった。
- ・保険のロジックを学ぶことで自分自身の知識量が増えるだけでなく、お客様への説明力も備わるなど、様々な向上に繋がられた。
- ・「コロナだからできない」ではなく、「コロナの中で何ができる？」という考え方でチャレンジ精神をもってスクーリングが実施されたこと、またそれに参加できたこと嬉しく思い、自身にも活かしていきたいと考えている。
- ・ワークショップも特別講義もタイムリーな内容でとても面白かった。特にワークショップでは新しい時代になってきたことを実感した。今後の自分の仕事にもどんどん取り入

れ、発信していきたいと強く思う。

損保総研は、より充実した学習機会を提供できるよう、受講各社人事部門等とも情報交換を行い、本科講座の内容向上に努めていく。

【2019年度本科講座の受講スケジュールおよび受講科目】

クラス	通信科目受講期間	スクーリング
A	2019年7月～2020年3月	2020年9月8日、9日
B		
C	2019年8月～2020年4月	2020年10月15日、16日
D		
E	2019年9月～2020年5月	2020年11月12日、13日
F		

通信科目：保険総論、損害保険市場論、保険契約法、保険業法、リスクマネジメント、再保険論、事故対応実務の基礎、海上保険論

スクーリング試験科目：金融の基礎知識、火災保険論、自動車保険論、新種保険論、損害保険会計

成績優秀者の公表につきましては、「掲載日を所属会社にあらかじめ連絡する」ということで了承を得ております。

本件に関するお問い合わせ先

〒101-8335 千代田区神田淡路町 2-9
公益財団法人 損害保険事業総合研究所
教育研修部 田中 TEL 03-3255-5512

この資料は、保険関係業界紙各社へ同時に配布しております。